

事業名	中心市街地活性化事業
-----	------------

総事業費	1,800 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図	①運営してもらう ②商店街に集まる	
事業の実績 と 成果	取組内容	市商工会の主体的な活動として、補助金を交付する。 補助金の申請受付、審査、決定通知、概算申請受付、概算交付、実績報告受付、確定通知
	成果	<p>(アート) ・参加アーティスト 韓国7名 日本1名 計8名 ・作品数 アート看板 15 基 壁ギャラリー 27点 おさかなアート 1点 アートベンチ 1点 計44点</p> <p>(食) パンフレット作成 2,000部</p> <p>(繁盛店づくり事業) セミナー開催 参加者 12名</p> <p>・徐々に市民参画が進んでおり、市民からの認知も高まっている。</p> <p>・継続的な取組により、作品が集積されてきたことから観光客などからも問い合わせがあり、まちなかを歩くことの楽しみへとつながっている。</p>

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<p>(アート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な取組として商店街への誘客が図られているが、補助による事業の実施ではなく、自立へ向けた取組も検討する必要がある。 ・人的な部分においても負荷がかかっており、その対策を検討する必要がある。 ・2020年度で10周年となることから、次年度の取組を含めて2019年度の実施について、商工会とも検討する必要がある。 <p>(食、繁盛店づくり事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者や活動が見えにくい。 ・人的な部分においても負荷がかかっており、その対策を検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<p>商工会を通じ、中心市街地の活性化を図る目的で、商店街の魅力向上と活性化を目指し、食・芸術・アニメをテーマにした取り組みからスタートした事業である。芸術については、くろしおの芸術祭として、毎年秋に商店街を中心として、多くの市民が参加して、アートイベントが継続されている。制作された壁面造作やベンチ、看板等は、形が残るものとして商店街に配置され、彩り鮮やかに歩いて楽しい街並みが形成されつつある。今後は、継続的な取り組みにするためにも、組織的に自立できる体制づくりが課題となっている。</p> <p>一方、食を通じたPRや個店の魅力向上については、効果的な手法かどうか見極め、相乗的な効果に繋がるよう検討が必要である。</p>

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	<p>市商工会まちづくり委員会にて事業計画案が承認され、事業の実施に向け、取組が進められている。</p> <p>くろしおの芸術祭は、例年、韓国人アーティストと市民との交流によって行われているが、韓国との外交問題により、さまざま交流事業が中止となる事例があることから、今後の日韓関係においては、来日の中止等が懸念される。現状では日程調整等も行われている。</p> <p>また、港町再生等との他の市街地活性化事業との相乗効果のある取組が求められる。</p>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等

説明



くろしおの芸術祭の壁ギャラリー

事業名	まちかどインフォメーションセンター事業
-----	---------------------

総事業費	6,051 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図	①集客する。情報発信を行う。 ②利用する。 ③運営する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	まちなかの拠点施設の一つとして定着しつつあり、イベント等の利用の増加も見られ、通信の発行による情報発信にも取り組んだ。商店街振興協同組合とも連携し、セミナーの開催やバスツアーの集合場所、港町再生の市民検討組織の活動の場としても活用し、市民参加がしやすい場として行政においても活用を図っている。市民主催によるイベントについても防災無線やSNSを活用して周知を行った。
	成果	・イベント 7件 ・展示会 7件 ・サークル・教室 39回 ・セミナー・会議等 19回 ・市民の作品発表の場やまちなかの休憩所、wi-fiが利用できる場として固定した利用者がいる。 ・観光客の情報発信の場としても利用が増えてきている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体的に活動できる場として周知を行うとともに、観光客の情報発信の場として観光協会等とも連携を図ることで今後も利用者増が見込まれる。 ・商店街の利用が少なく、商店街の店舗が連携した本施設の活用も検討し、商店街の店主の意欲を高める取組も必要である。 ・2019年度は交付金の最終年度となることから自立へ向けた取組も検討する必要がある。 ・利用者からの声を運営に反映できる仕組みを構築し、イベントの開催や情報発信について効果的に行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<p>商店街の空き店舗を活用し、様々な情報発信と交流の場として商店街への誘客を図り、さらに個店と個店を繋ぐハブ役として取り組んできている。紙媒体での広報誌発行のほか、インターネットを活用したFacebookによる情報やフリーマーケット等のイベントも開催し、少しずつ認知も広がりつつあり、利用者も子供から高齢者まで、幅広い方々に利用頂いている。</p> <p>一方で、少子高齢化により商店街への利用者そのものが減少しており、今後は、商工会や商店街振興協同組合、通り会等とも連携し、商店街全体の更なる魅力化と波及効果を高める取り組みが課題である。また、機能（事業）の継続性の観点から、自立に向けた動きも今後検討いく必要がある。</p>

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	<p>商店街での活動の拠点として、商店街の情報発信とともにイベント等を開催し、商店街への誘客へとつなげる。</p> <p>本年度は、地方創生推進交付金事業（世界に向けて「おじゃり申せの島」経済交流拡大事業）の最終年度（H29～H31）であり、商店街の空き店舗を活用しての事業のみならず、商店街の活性化の拠点として次年度以降の存続をめざし、利用者等も含めた運営委員会を設置し、利活用拡大や今後の自立等を検討していく。</p>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等

説明



2月10日開催 バレンタインマルシェの様子

事業名	商店街景観統制事業
-----	-----------

総事業費	800 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図	①景観について協議する ②利便性を向上する ③支援及び協議する	
事業の実績 と 成果	取組内容	関係者企画運営等 協議、補助金処理。 ・景観統制について、商店街振興協同組合と協議し、国道沿いの商店主等とのワークショップの実施の支援等を行った。 ・本市施策との整合性や連携について関係者と協議し、情報の共有等を図った。
	成果	・セミナー 2回 ・ワークショップ 3回 ・インバウンド対策用マップ及びポスター製作、配付 ・ワークショップの成果及び鹿児島大学の調査結果を報告書として作成

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・ワークショップへの参加者の増加や市内全体への波及を検討する必要がある。 ・協議された内容に基づき、店舗等が実際に景観について取組を実施できる環境整備が必要である。 ・インバウンドマップの更新。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	市長施策の「港町再生」構想を補完するものであり、商店街振興組合を中心とした取り組みである。インバウンド（訪日観光客）を想定しつつ商店街に多くの方々を呼び込み為の魅力づくりとして、景観を中心に大学の専門家や商店街関係者を交えたワークショップを開催し、議論を深めることができた。今後、調査結果や議論された内容を踏まえ、具体的に商店街関係者等との連携を図りながら、実現に向けた動きに繋げたい。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	市商店街振興協同組合に補助を行い、組合の特別委員会である商店街活性化委員会により実施されている事業である。本年度は、地方創生推進交付金事業（世界に向けて「おじゃり申せの島」経済交流拡大事業）の最終年度（H29～H31）であるが、本年度も引き続き鹿児島大学建築学科に協力をもらい、商店街調査や店主や住民を対象としたワークショップを開催するとともに、実際に取組を進めていくため、先進地を視察し、関係者との意見交換を行う。調査結果については報告書として整理し、本事業で作成したインバウンドマップについても更新を行う。
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等

説明



商店街活性化委員会（商店街振興協同組合特別委員会）の様子

事業名	商店街魅力創出事業
-----	-----------

総事業費	2,000 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図	①商店街へ集客する ②交流を図る ③支援する	
事業の実績 と 成果	取組内容	関係者企画運営等 協議、補助金処理 ・ゲーム発売に合わせたイベントの周知や運営に対する支援を行った。 ・パネル展等の実施の支援を行った。
	成果	(イベント) 聖地巡礼ラッピングバスツアー 参加者17名 パネル展 枚展示

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度はゲーム発売が大きく延期され、バスツアーの広報の期間が短かったこともあり、大きな集客につながらなかった。 ・市民や商店街への周知や定着にも取組んでいくことでまち全体へ展開する必要がある。 ・アニメ及びゲームの利用については製作側との著作権等もあり、時間を要する。 ・商店街や特産品での利用についても、一定の使用料等が発生し、事業展開が難しい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	平成29年度にアニメの聖地88選に選ばれ、また30年度には新たに本市商店街を中心に舞台となったアニメゲームが発売されるなど、商店街の魅力創出に繋がる外的要因の機会を活かし、商店街振興協同組合により事業が進められている。継続的な取り組みを行うことで、認知も広まり交流人口拡大に繋がることが期待されるため、島内外へのPRも含めて効果的に事業展開したい。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	市商店街振興協同組合に補助を行い、組合の特別委員会である商店街活性化委員会により実施されている事業である。本年度は、地方創生推進交付金事業（世界に向けて「おじゃり申せの島」経済交流拡大事業）の最終年度（H29～H31）であり、本事業も交付対象最終年度となる。本年1月にゲームソフトが発売されたことを踏まえ、鹿児島市内で開催されるゲームイベントへの出展、ゲームの舞台となっている鉄砲まつりで、市民へのPRや観光客の誘客のために歌手や声優の出演、サイン会、バスツアー、インフォメーションを活用した展示会等を計画実施していく。また、アニメを活用した特産品の開発も検討する。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等

説明



パネル展（まちかどインフォメーションセンター）の様子

事業名	港町再生検討推進事業
-----	------------

総事業費	2,165 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図	①情報共有する ②協議する 取組む	
事業の実績 と 成果	取組内容	推進検討委員会及び市民検討組織並びに庁内検討委員会を組織、運営、協議を行い、基本構想の策定を行った。
	成果	港町再生基本構想の策定。 市民組織（みなとラボ）への参加者 約30名による市民による取組。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への基本構想の周知 ・事業実施に向けた検討体制の整備 ・市民の当事者意識の醸成
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	本年度「港町再生基本構想」の取りまとめを計画し、各関係機関及び団体等の代表者、市民や移住者、出郷者、行政関係者など様々な立場の方々による検討を重ねたうえで、将来のまちのビジョンとなる構想書を策定した。これにより、次年度以降に繋がる方向性を定めることができたので、今後さらに議論の経過を広く共有するとともに、具体的な事業実施計画に向けて検討を重ねたい。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	基本構想に基づき、実施計画とともに具体的な取組を進めていくため、これまでの組織とともに新たな組織により集中して検討を進める。
-----------	----------------------------------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等

説明



みなとまち未来会議の様子

事業名	(市制施行60周年記念) 種子島通貨発行事業
------------	------------------------

総事業費	3,399 千円
-------------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町(商店街)の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図	支援する	
事業の実績 と 成果	取組内容	市制施行60周年記念として、また、台風被害等を受けた市民や地域経済の活性化策として歳末セールにあわせて希望者に対してプレミアム10%の商品券を販売した。(限度額5万円) 補助金申請受付, 審査, 交付決定, 概算払申請, 概算払い, 確定通知
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・発売後、すぐに完売となり、換金率も98.68%と短期間ながら地域経済が活性化された。 ・短期間で発行する必要があったことから、市商工会とも連携を密にして取り組むことができた。(土日にも販売を実施)

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・大字地域への波及効果や低所得者層の購入等についても検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	商店街の活性化に向けて様々な事業に取り組んでいるが、プレミアム付き商品券(種子島通貨)の発行については、特に商工会からの要望も強く、本年度においては、市制施行60周年記念及び台風被害対策等として、補正により予算計上された。事業実施にあたっては、商工会を通じ発行を行い、歳末セールに向けて効果的な取り組みが行われた。 次年度においては、消費税率の引き上げが予定されており、国主導で低所得者層への対策として、プレミアム付き商品券の発行が計画されている。今後商圏人口が縮小する中、より効果的な経済対策について、抜本的に検討が必要である。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	事業終了
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明